

## アーツ前橋展覧会「new born 荒井良二 いつも しらないところへ たびするきぶんだった」展を開催

世界的な評価を受けるアーティストで絵本作家・荒井良二さんの軌跡をたどる展覧会を開催します。本展は、絵画や絵本原画、イラストレーションのほか、愛蔵の小物たちを通して、その創作活動を紹介。本市にゆかりある作品も出展します。

### 1 会期・時間

6月29日（土）～8月25日（日）10時～18時（入場は17時30分まで）

### 2 会場

アーツ前橋

### 3 観覧料

一般 800円

学生・65歳以上・団体（10名以上） 600円

高校生以下 無料

※ギャラリー1（1階）は観覧料無料

※障がい者手帳等をお持ちの方と介護者1名は無料

### 4 関連イベント

- ・市民参加プログラム「荒井良二と物語を汲み出す人」
- ・前橋こども図書館による荒井良二作品おはなし会
- ・前橋シネマハウスによる特集上映「荒井良二と映画を旅するこどもたち！」

### 5 内容

詳細は別紙資料またはアーツ前橋ホームページをご覧ください。

### 6 プレスプレビュー

6月28日（金）14時～15時30分（13時30分から受付開始）

※14時から作家とキュレーターによる作品解説を行います



アーツ前橋 HP



new  
born  
荒井良二

いつも しらないところへ  
たびするきぶんだった

new born / ARAI RYOJI  
—ENDLESS UNKNOWN JOURNEY SENSATION—

2024.6.29 SAT—8.25 SUN



プレスプレビュー  
申し込みフォーム

担当 文化国際課 アーツ前橋

電話 027-230-1144（内線 89-201）



ARTS  
前橋  
MAEBASHI  
2024.6.29 SAT—8.25 SUN

new born / ARAI RYOJI — ENDLESS UNKNOWN JOURNEY SENSATION—

new born 荒井良二  
いつも しらないところへ たびするきぶんだった

ポスター画タイトル《果てしない物語を聞いているような夜のとばり》2024年

new born 荒井良二 いつも しらないところへ たびするきぶんだった

荒井良二（1956-）は、2005年に日本人として初めてアストリッド・リンドグレーン記念文学賞を受賞するなど、世界的な評価を受けるアーティストです。彼の幅広い活動は、絵本だけでなく絵画、音楽、舞台美術にまで及んでいます。全国各地を巡回する本展では、荒井自身がセレクトした絵画、絵本原画、イラストの他、愛蔵の小物たちや廃材を用いたオブジェ群を縦横無尽に配し、美術館内にその創造の旅の軌跡を大胆に描き出していきます。2011年に故郷の東北を襲った東日本大震災では、被災地でワークショップを精力的に行ったり、市民参加型のフェスティバル「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ」を立ち上げるなど（2014-2018）、近年ではより社会とつながる創作活動に取り組んでいる荒井良二。彼はこれまでどんどころを旅し、次はどこへ私たちを連れて行ってくれるのでしょうか。たびたび訪れ、ゆかりある前橋では、新たな作品も加えられます。ここからまた新しい荒井良二が誕生=new bornする展覧会を一緒に体感しましょう。



# new born

荒井良二 いつも 知らないところへ  
たびするきふんだった

new born / ARAI RYOJI -ENDLESS UNKNOWN JOURNEY SENSATION-

2024.6.29 SAT — 8.25 SUN

## [開催概要]

タイトル：new born 荒井良二 いつも 知らないところへ たびするきふんだった

会期 | 2024年6月29日 [土] → 8月25日 [日]

プレスツアー = 2024年6月28日 [金] 午後2時 - 午後3時30分 (午後1時30分受付開始)

\* 荒井氏と担当学芸員が各会場をめぐりながら作品解説を行います。お申し込みはこちらから  
(お申込みフォームは利用者登録せずにお申込みいただけます)



会場 | アーツ前橋

開館時間 | 午前10時 ~ 午後6時 (入場は午後5時30分まで)

休館日 | 水曜日

入場料 | 一般800円、学生・65歳以上・団体(10名以上)600円、高校生以下無料

※1F ギャラリーは観覧無料

※障がい者手帳等をお持ちの方と介護者1名は無料

主催 | アーツ前橋、朝日新聞社

後援 | 上毛新聞、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばし CITY エフエム、前橋商工会議所

協力 | 偕成社、小学館、積水ハウス、フリッツ・アートセンター、宮本武典

## [アーティストプロフィール]

荒井 良二 (あらい・りょうじ)

1956年山形県生まれ。『たいようオルガン』でJBBY賞を、『あさになったのでまどをあけますよ』で産経児童出版文化賞・大賞を、『きょうはそらにまるいつき』で日本絵本賞大賞を受賞するほか、2005年には日本人として初めてアストリッド・リンドグレーン記念文学賞を受賞するなど国内外で高い評価を得る。2012年NHK連続テレビ小説「純と愛」のオープニングイラストを担当。ライブペインティングやワークショップのほか、作詞・作曲やギターも演奏するなど音楽活動も行っている。2018年まで「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ」の芸術監督を務めるなど、さらにその活動の幅を広げている。



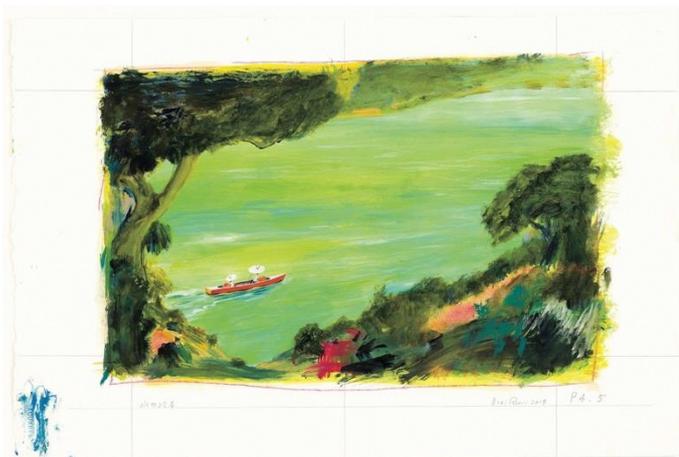
## [展覧会の特徴]



『あさになったのでまどをあけますよ』原画（表紙）2011年 偕成社

### 1. 絵本や書籍原画の細部までじっくりと

おもわず口ずさみたくなるようなリズムカルな文体やオノマトペ、あたたかく鮮やかな色彩、描けそうで描けない独特の線やかたち、そして心にふっと灯りがともるような読後感。荒井の絵本や書籍は、一言では言い尽くせない魅力であふれています。本展では、100冊以上の絵本・書籍のなかから、代表的な作品の原画をご紹介します。青と赤の2つの気球、窓から顔を出す人、小さな家々など、文字がない原画ならではの発見をお楽しみください。



『水の絵本』原画 2019年 講談社

## 2. 新作絵画や立体作品による会場構成

「越える」を意味する「meta (メタ)」のタイトルを用いて、2010年に初作品集『meta めた』（フォイル）を刊行し、絵本作家として知られる自らを超越する、あらたな活動をはじめた荒井。各地での作品展示に加え、郷里・山形を舞台とした「荒井良二の山形じゃあにい」、「みちのおくの芸術祭山形ビエンナーレ」の芸術監督、震災後の東北をめぐる活動など、場所やジャンルを超えた創作の旅を続けています。新作絵画に加えて、大分県の公園に設置されたオブジェ《マッテルモン》《たいようをすいこむモン》のマケットや、「山形ビエンナーレ2018」で発表された《山のヨーナ》の立体物を再構成し、展示室全体を使って荒井の創作の現在地を伝えます。



《山のヨーナ》2018年 山形ビエンナーレ



《花の草》2008年



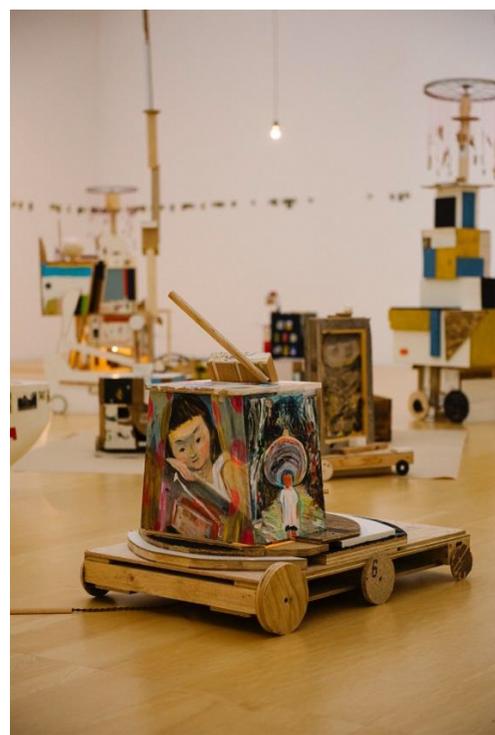
《山のヨーナ》2018年 山形ビエンナーレ

### 3. 旅するインスタレーション

展示の最後では、新作の立体インスタレーション《new born 旅する名前のない家たちをぼくたちは古いバケツを持って追いかけ湧く水を汲み出す》を発表します。こども一人一人がひとつの家となり、展示室に点在する小さな家々は、それぞれに物語を内包しながら旅をしていきます。家の素材や、電球やスケッチなど細部の設え、また、形態から読み取れるこどもたちの物語を想像しながら、会場をゆっくり巡ってみてください。



《new born 旅する名前のない家たちをぼくたちは古いバケツを持って追いかけ湧く水を汲み出す》（全景）2023年



《new born 旅する名前のない家たちをぼくたちは古いバケツを持って追いかけ湧く水を汲み出す》（部分）2023年

## 4. 多彩な関連プログラム

### こどもワークショップ 「うつくしいってなに？」(プレイベント)



本展で原画を特別展示する詩人の最果タヒさんと荒井良二さんの共著『うつくしいってなに？』（小学館／7月刊行予定）にちなんでひらく、子どものための絵と言葉の一日。

日時 | 6月22日 [土] 午後2時～5時 / 講師 | 荒井良二 / 対象 | 小学4～6年生 / 定員 | 20名 (事前申込) / 会場 | アーツ前橋 ギャラリー1 / 参加費 | 無料

---

### オープニングトーク&ライブ 荒井良二 × 寺尾紗穂「〈わたしの好きなわらべうた〉より」



荒井良二×寺尾紗穂 ライブ《山姥のいるところにて》山形ビエンナーレ 2016



寺尾紗穂

古来より日本各地で歌い継がれてきた“わらべうた”をテーマに、荒井のライブペインティングと、シンガーソングライター寺尾紗穂さんの演奏が夜の美術館で響きあう。

日時 | 6月29日 [土] 午後6時30分～7時30分 / 会場 | アーツ前橋ギャラリー6 / 出演 | 荒井良二、寺尾紗穂 (シンガーソングライター、エッセイスト) / 企画協力 | フリッツアートセンター / 定員 | 80名 (事前申込) / 参加費 | 1,000円 (当日) / 申込方法 | 当館ホームページよりお申込みください / その他 | 会場に椅子のご用意はありません。敷物などが必要な場合はご持参ください

## 市民参加プログラム「荒井良二と物語を汲み出す人」



荒井と一緒に「物語をつくる」プログラムです。インスタレーション《new born 旅する名前のない家たちを ぼくたちは古いバケツを持って追いかけて 湧く水を汲み出す》をモチーフに、参加者全員で物語文を編んでいきます。

日時 | 7月27日 [土] 午後4時30分~7時 / 会場 | アーツ前橋 ギャラリー6 / 講師 | 荒井良二、宮本武典（アーツ前橋チーフキュレーター、東京藝術大学准教授） / 対象 | 中学生以上 / 定員 | 25名（作文による選考あり） / 参加無料（要観覧券チケット） / 申込方法 | →6月3日 [月] から応募受付を開始いたします。（申込締切=7月13日 [日]）

## 前橋シネマハウス 特集上映「荒井良二と映画を旅するこどもたち！」

荒井おすすめの外国映画や自身に関わった映像作品を見ながら一緒に旅をしましょう。上映作品の⑤『まわりみち、あしのねいろ』と⑥『荒井良二と山形ビエンナーレ 2018（仮）』は、荒井が故郷の山形で開催した展覧会の様子を記録したドキュメンタリー映画です。



主人公としてこどもやこどもたちが出ている映画が好きです。

おとなには視ることのできないものをこどもの眼が

世界を凝視しているように思えるからです。

今回、僕はこどもたちがスクリーンの中に登場する映画を

多く選んでみました。

こどもたちもちろん！おとなにも観てほしいと

心から願ってます！

荒井良二

## 「荒井良二と映画を旅するこどもたち！」上映作品

- ①『100人の子供たちが列車を待っている』（1988／監督：イグナシオ・アグエロ）
- ②『少年、機関車に乗る』（1991／監督：バフティヤル・フドイナザーロフ）
- ③『ミツバチのささやき』（1973／監督：ビクトル・エリセ）
- ④『大人は判ってくれない』（1959／監督：フランソワ・トリュフォー）
- ⑤『まわりみち、あしのねいろ』（2011／監督：黄木優寿）
- ⑥『荒井良二と山形ビエンナーレ 2018（仮）』（2024／監督：黄木優寿）

8/10 土	10:30～ ⑥	13:00～ ⑤	15:00～ ①
8/11 日	10:00～ ⑤	13:00～ ①	15:00～ ④
8/12 月	10:30～ ③	13:00～ ④	15:00～ ⑥
8/13 火	10:30～ ①	13:00～ ③	15:00～ ②
8/14 水	10:30～ ④	13:00～ ③	15:00～ ⑤
8/15 木	10:30～ ②	13:00～ ②	15:00～ ①
8/16 金	10:30～ ③	13:00～ ④	15:00～ ⑥
8/17 土		13:00～ ②	15:00～ ①
8/18 日		13:00～ ③	15:00～ ④
8/19 月		13:00～ ②	15:00～ ⑥
8/20 火	休館	休館	休館
8/21 水		13:00～ ⑤	15:00～ ①
8/22 木		13:00～ ③	15:00～ ⑥
8/23 金		13:00～ ④	15:00～ ②

上映期間 | 8月10日（土）～23日（金） / 会場 | 前橋シネマハウス（3F アーツ前橋上）TEL027-212-9127 / 料金 | 各回 一般 1300円、シニア 1100円、高校生以下 700円 / ※相互割引あり（荒井良二展入場券の提示で特集上映の一般・高校生以下 200円引。特別上映入場券の提示で荒井良二展の一般 200円引） / ※8/11（日）10:00～の上映終了後に荒井さんと黄木優寿監督によるアフタートークを実施します。 / ※上映プログラムは変更になる場合があります。各作品の詳細情報と最新スケジュールは前橋シネマハウスのホームページ（<https://maecine.com/>）をご覧ください。

## 前橋こども図書館「荒井良二作品おはなし会」



《名前の知らないわたしと誰かが聞いている》2023年

日時 | 会期中 不定期開催 ※詳細は前橋こども図書館ホームページをご覧ください。/会場 | 前橋こども図書館  
(アーツ前橋向かい・前橋プラザ元気 21 2F) おはなしひろば TEL 027-230-8833 /参加費 | 無料

<https://www.city.maebashi.gunma.jp/library/>

イベントの内容は変更になる場合があります。下記の展覧会ホームページで最新情報をご確認ください。

<https://www.artsmaebashi.jp/?p=20281>



アーツ前橋 WEB

[広報用画像]

広報用画像として本リリースに掲載している画像をご用意しております。

ご希望の場合は、こちらの URL からお申込みください。

(お申込みフォームは利用者登録せずにお申込みいただけます)



[https://apply.e-tumo.jp/city-maebashi-gunma-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=18885&accessFrom=offerList](https://apply.e-tumo.jp/city-maebashi-gunma-u/offer/offerList_detail?tempSeq=18885&accessFrom=offerList)

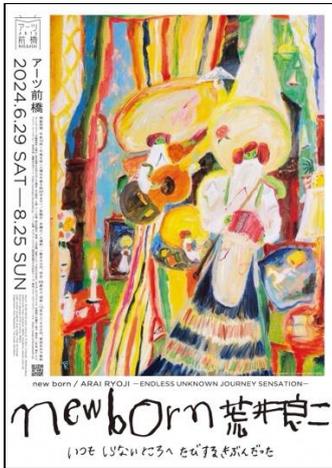
※お申込み後に、ダウンロード用の URL と ID・PASS をお送りします。



1



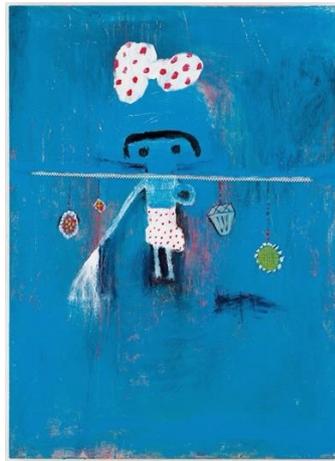
2



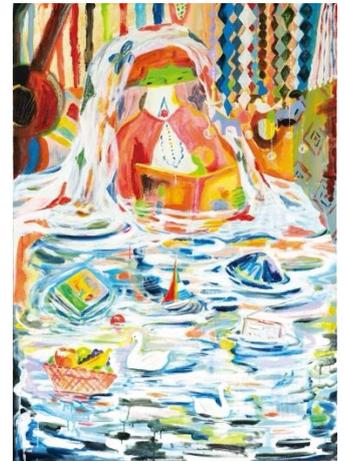
3



4



5



6



7



8

1. 《new born 旅する名前のない家たちをぼくたちは古いバケツを持って追いかけて湧く水を汲み出す》2023年 撮影：池田晶紀
- 2 《逃げる子ども 1》2010年
- 3 展覧会ポスター（デザイン：小坂橋基希）
- 4 荒井良二（撮影：池田晶紀）
- 5 《花の草》2008年
- 6 《名前の知らないわたしと誰かが聞いている》2023年
- 7 《誰も知らない山の神さまちゃん》2018年
- 8 『あさになったのでまどをあけますよ』原画（表紙）2011年 偕成社

### 記事掲載についてお願い。

※掲載にあたっては、展覧会名と会期を表記してください。

※画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。

※掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。

※取材及び収録の際は、必ず事前にお問い合わせください。

※画像の使用は本展覧会の広報目的に限り、個人ブログ等への掲載や鑑賞等を目的とする場合には提供できません。

## お問い合わせ先

前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課 アーツ前橋

【広報】酒井・上田 TEL: 027-230-1144 E-mail: [artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp](mailto:artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp)



new born

荒井良二 いつも じないところへ  
たびするきふんごた

new born / ARAI RYOJI - ENDLESS UNKNOWN JOURNEY SENSATION -

2024.6.29 SAT — 8.25 SUN

